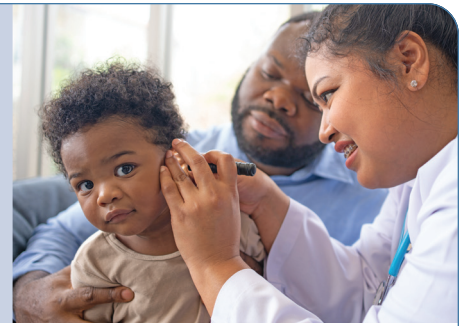


あなたの赤ちゃんには 診断用聴力検査が 必要です



下記のように、赤ちゃんの診断用聴力検査の予約が入っています：

赤ちゃんの名前 _____

オーディオロジストの名前 _____

オーディオロジストの電話番号 _____

オーディオロジストのメールアドレス _____

予約日 _____

予約の時間 _____

日程を変更する必要がある場合、オーディオロジスト（聴覚ケアの専門医）にご連絡ください。この検査は赤ちゃんが生後3か月になるまでに行う必要があります。

次のステップ

- 上記の予約に赤ちゃんを連れてきてください。
- 聴力検査では、オーディオロジストが各種器具を使って赤ちゃんの聴力を検査します。この検査で赤ちゃんが痛みや傷を受けることはありません。
- 聴覚障害の判明が早期であるほど、赤ちゃんは会話や言語などのコミュニケーションスキルを学ぶためのサービスをより早く受けることができます。

コミュニケーションが重要な理由は何でしょうか？

- 赤ちゃんはできるだけ早くコミュニケーションできるようになることが最善です。この検査で、お子さまの聴覚障害の種類とそのレベルを特定します。
- 赤ちゃんに聴覚障害がある場合、診断検査はあなたと赤ちゃんのオーディオロジストまたは担当医が赤ちゃんのコミュニケーション方法を選択する上で役立ちます。赤ちゃんにとって最良のコミュニケーション方法が、赤ちゃんと家族にとって最も理にかなった方法です。お子さまにとって最善のコミュニケーション方法は、手話の場合や発話の場合、またはその両方であるかもしれません。
- 親や保護者は、赤ちゃんがコミュニケーション方法を学べるように助けられる最も重要な人です。
- コミュニケーションは双方向でなければなりません。つまり、あなたから赤ちゃんへ、そして赤ちゃんからあなたへです。
- 赤ちゃんは生まれたときから言語能力が発達し始めます。言語はすべての学習の鍵であり、聴覚は学習にとって非常に重要です。

聴覚障害とはどのようなものですか？

- 聴覚障害は、赤ちゃんが音を認識する方法に影響するあらゆる状態のことをいいます。聴力障害は次のような場合があります：
 - > 永久的または一時的
 - > 軽度、中等度、重度、または重篤
- 診断検査で赤ちゃんの聴覚障害が確認されると、赤ちゃんの担当医またはオーディオロジストは聴覚障害の種類と程度も知ることができます。



詳細は右記をご覧ください：health.ny.gov/EHDI



Department
of Health